



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 日本でのムーミン・テーマパークの設立

5

## 序文

2015年5月下旬、フィンテック・グローバル・インコーポレーテッド（FinTech Global Incorporated: FGI）<sup>[1]</sup> のロバート・ハースト（Robert Hirst）会長は、東京の虎ノ門タワーズオフィスにある自分のオフィスで椅子に腰を下ろした。約2年前、ロバートはムーミンを主題とするテーマパークを日本に設立することを目的とする株式会社ムーミン物語のCEOに就くことに合意していた。

10

ロバートは革張りの椅子の背にもたれ、2013年11月のFGIとフィンランドの遊具メーカー、Puuha International Oy（Puuha）<sup>[2]</sup>によるムーミン物語設立の経緯を振り返った。当初、会社設立にあたってのFGIとPuuhaの自己資本比率はそれぞれ50%だった。<sup>[3]</sup>しかしその後にFGIはムーミン物語への追加投資によって株式保有比率を75%に引き上げた。<sup>[4]</sup>プロジェクトを前に進めるためにはFGIの追加投資が不可欠であることはロバートもよくわかつっていた。

15

ロバートはムーミン物語の設立当時を振り返った。まず、ムーミンの著作権を保有するOy Moomin Characters Ltdのグローバルな専属代理人であるスウェーデンのBulls Presstjänst ABとの間で、独占的ライセンス契約を結んだ。この契約によって、テーマパークにムーミンのキャラクターを使用することが認められ、FGIは日本でのテーマパーク事業の準備に着手することが可能になった。さらに、テーマパークでのムーミン・キャラクターの適切な使用を確保するために、ロバートはMoomin

20

<sup>[1]</sup> フィンテック・グローバル・インコーポレーテッド（FGI）は、企業の成長と地域開発を支援するブティック型投資銀行である。FGIは、医療施設のための資金融通その他の支援手段に関与するとともに、テーマパーク、ライフサイエンス、不動産、食品といったビジネス（事業）分野において明らかな能力のある会社にも投資している。FGIは1994年に設立され、東京に本社を置く。

25

<sup>[2]</sup> Puuhaは遊具、野外用家具、スポーツ用品のメーカーである。Puuhaは2011年にムーミンの代理人であるBulls Presstjänst ABと契約を結んでおり、これによってムーミン遊具の設計と製造のライセンスを保有している。

<sup>[3]</sup> <http://www.fgi.co.jp/archives/002/201311/529328f7d6c81.pdf>

<sup>[4]</sup> <http://www.fgi.co.jp/archives/002/201505/55594dec0550f.pdf>

本ケースは、アールト大学ビジネス・スクールのArto Lindblom教授と慶應ビジネス・スクールの浅川和宏教授が作成した。本ケースは慶應ビジネス・スクールが出版した「Establishing the Moomin Theme Park in Japan」を日本語に翻訳したものである。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © Arto Lindblom, Kazuhiro Asakawa (2019年5月出版)